



## 豪雨災害に伴う建設現場の安全パトロールを実施



平成30年7月23日(月)、7月の豪雨で被害が大きかった県東部の3箇所の建設現場に対して鳥取労働局長が安全パトロールを実施しました。

パトロールは、被災箇所の確認と復旧工事の内容を確認し、安全な施工と少しでも危険のおそれのある場合は早めに作業を中断し安全な場所への退避や立ち入り禁止の措置を講じていただくよう、また、熱中症対策のため、暑さ指数(WBGT値)の測定と結果に基づく作業管理を行うよう要請を行いました。

(当日午後1時の屋外のWBGT値は33℃でした。)

写真の現場には熱中症対策として屋根の付いた簡易テントが設置され、塩あめが置いてありました。

なお、鳥取労働局では、記録的な猛暑が当分続く見込みであることから「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の**重点取組期間**について、当初7月末としていましたが**8月末まで延長**することにしました。

(関係リーフレットは次ページに掲載)



復旧工事の安全対策について要請行う丸山鳥取労働局長